

えんど久子 県議が 県議会 本会議で 質疑

# 日米共同訓練の中止を求めよ！

えんど久子県議は、9月27日の大分県議会の本会議で、日出生台・十文字原演習場での、日米共同訓練について質疑しました。

## 事故が相次ぐオスプレイも参加

「MV-22など日米のオスプレイも参加して10月14日から実施予定だ。米海兵隊と自衛隊との国内での最大の訓練だが、海兵隊のMV-22オスプレイは、8月27日にオーストラリアでの訓練中に墜落し、3人が死亡したばかりの欠陥機種だ」と主張。

## 日本を守るところかリスク増す

さらに、「防衛省は、陸上自衛隊湯布院駐屯地に地对艦ミサイル連隊を新たに配備する方針で、共同訓練やミサイル連隊配備は、湯布院や別府の観光にもマイナスだ。日本は長射程ミサイルなどを爆買しようとしているが、軍拡競争を招き、日本を守るところか日本を戦渦に巻き込みかねない恐ろしい動きだ。県民の安全安心を守るために、国に対し日米共同訓練と湯布院駐屯地へのミサイル連隊配備の中止を求めるべきだ」と、えんど久子県議

## 佐藤知事は国にNOと言えず

知事は「日米共同訓練は国の責任において実施するものだ。九州防衛局長に対して、情報開示と安全管理の徹底について要請した。オスプレイなどの安全確保の特段の配慮を求めた。県民の安全・安心を第一に考え、国際情勢や国の動きを注視していく」と、答えるにとどまりました。

## 軍拡にNOと意思表示を

この答弁に、えんど県議は「9月14日以降に大分空港などにオスプレイが計6回緊急着陸し、この異常事態に不安の声が上がっている。少なくとも、トラブル続きのオスプレイの訓練は中止を求めるべきだが、その考えはないか」と知事に再度答弁を求めました。

知事は「飛行の安全確保など地元住民に配慮した運用を要請し、米軍に万全の措置を講ずるよう九州防衛局に申し入れた」と答弁。

えんど県議は「自治体の役割は住民の安全安心と健康・福祉を守ることだ。そのためには、軍拡の動きにノーの声を上げることが必要だ」と強調しました。



佐藤樹一郎知事（左）に、国の軍拡の動きの危険性を訴え質疑するえんど久子県議（右）

2023・9・27

# 日本共産党 県政ニュース

発行 日本共産党大分県議団  
大分県議会議員 えんど久子

No.69

TEL・FAX 097-537-2344 2023.10.18

えんど久子のホームページは <http://happyendo.com> と <http://dotdotnet.com> をぜひご覧ください

えんど久子県議が本会議で質疑

# 高すぎる国保税の引き下げを！

9月27日の質疑で、猿渡（えんど）久子県議は「物価高の今こそ、国保税の負担を軽くすることが求められている」と強調しました。

## 暮らしを脅かすほど高い国保税

えんど久子県議は、「国民健康保険は、収入がない子どもにも均等割が課税され理不尽だ。別府市の小学生以上の子ども3人の世帯では月24万5000円弱の所得から国保税だけで4万6810円を脅かしている」と訴えました。

## 昨年度は基金9億円を活用

さらに「子どもの均等割は廃止すべきだ。また、市町村への支援を強化し、納付額を引き下げることとで国保税を下げられないか」と答弁を求めました。

基金や試算についても質問。福祉保健部長は「県の財政安定化基金の令和4年度末残高は、総額で81億円、こどもの均等割を全額免除する場合、追加の必要額は、

もの国保税となり、負担が重すぎる。国保税は子どもが多いほど高くなる仕組みで、少子化対策に逆行するものだ。安心して暮らすための社会保障の負担が逆に暮らしを脅かしている」と訴えました。

15才までは約2.4億円、18歳までは約3.2億円と試算している。この基金の目的は、県や市町村の特別会計の補填などに限定されている。昨年度は、9億円基金を取り崩し、保険負担の軽減を図った。子どもの均等割軽減などについて、今後も国へ要望を続けていく」との答弁でした。

## 子どもの国保税はゼロに

えんど久子県議は「先ほど挙げたケースで、子どもの国保税がゼロになれば年間7万7300円の

負担軽減になる。少なくとも子どもの均等割りを軽減すべきだ」と、強く求めました。

## 高齢者の補聴器購入に補助を

えんど県議は「高齢者の補聴器は片耳で平均15万円と高額だが、聴力の低下で会話が減り引きこもりがちになる。県として補聴器の購入を助成すべきだ」と質問。

## 安い補聴器で両耳22万円

福祉保健部長は「本来、市区町村で対応するものだが、県内市町村では今のところその動きは見られない。国において難聴と認知症の関連性などの研究がされて

えんど久子県議は「両耳で22万円の補聴器を、食べる物も惜しんで買った」という声を紹介。声や東京都には補聴器購入補助に使える制度があり、区などの助成制度が広がっていると述べ、重ねて補助を求めました。



選挙で訴えた公約実現に向け質疑するえんど久子県議。常任委員会や決算特別委員会でも連日質問し、声を届けて各分野で改善を求めました。

2023. 9. 27.